

議会報告会 実施報告書

実施日時	令和5年11月16日（木）19：00～20：35		
会場	プラザ萬象 大ホール	来場者数	33人
役割分担	司会進行 川端 耕一 冒頭挨拶 馬淵 清和（議長） 終わりの挨拶 中道 恭子（副議長）		
	報告 （議会の役割、しくみ）中道 恭子 （総務民生）縄手 博和 （産経建設）川端 耕一 （文教厚生）山本 武志 意見交換 3グループに分かれて実施 （意見交換のグループ分けについては別紙1のとおり）		

1. 報告に関する質問・意見及びその回答

(1) 敦賀市議会の役割としくみについて 質問なし

(2) 総務民生常任委員会の報告

質問：地域公共交通計画策定について、各地区で説明会を開いて皆さんの声を聞いてアンケート調査をすることのだが、いつ頃実施してどれくらいの回数をやるとか、具体的な計画は決まっているのか。

回答：計画の段階であり、具体的なことをこれから検討していくことになる。

(3) 産経建設常任委員会の報告 質問なし

(4) 文教厚生常任委員会の報告

質問：条例の重大事案として想定されるような危険なブロック塀にあらかじめ対策をするなど、子ども達に対して予算を向けよう、という方向にはならないのか。

回答：いじめだけでなくブロック塀の倒壊などの重大事案にも対応できるよう、今回条例として制定したもので、ご質問の危険な場所についても予算措置をして対応しているとご理解頂きたい。

2. 意見交換

「新幹線開業後の敦賀に期待すること」を主テーマに実施。

(以下、挙げられた意見のみ記載。)

意見1：新幹線駅の東口の駐車場がなぜあるのか。

意見2：条例が東口駐車場となっているが、「やまなみ口」「まちなみ口」は使わないのか。

意見3：金ヶ崎のオーベルジュはどうなっているのか。

意見 4 : 気比神宮まで、沿道に見るところ・食事するところがない。行政の計画はどうなっているのか。

意見 5 : リラ・ポートに宿泊施設がないのはなぜか。

意見 6 : otta の店・駅前の店舗の駐車場が少ない。今、廃業を考えているところもある。

意見 7 : ハピラインの利用者がいるのか。

意見 8 : 「敦賀ふぐ」や「敦賀真鯛」は、地元でも食べられていない。市民も気軽に食べられる店がない。ふぐは調理が難しく、下処理をする施設を作れないか。

意見 9 : 地域おこし協力隊に手厚いが、役立っているようには思えない。

意見 10 : 駅が高い位置にあるので、そこからの景観をもっとアピールするべき。

意見 11 : 駅のお土産処が寂しい。ホームなどにも設置できないか。

意見 12 : 観光に関して、若狭全体での連携をもっと進めるべき。

意見 13 : 大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」のバスツアーは好評と聞く。バスツアーをもっと増やせないか。

意見 14 : 駅の整備といった観点から JR の側にも、市民との対話の催しに参加してもらいたい。

意見 15 : 商店街をもっと盛り上げてほしい。

意見 16 : 不動産業者に敦賀への進出のための問い合わせがよくあるが、休耕地にも関わらず土地の制限などに阻まれて敦賀での売買がうまくいかないことが多い。

意見 17 : 武道館の場所が観光の面から良くないと思う。運動公園の方などに移すべきでないか。

意見 18 : 市長、市議会に 10 年後のビジョンを持ってほしい。

意見 19 : 道の駅は市長の公約にあったかと思うがどうなっているのか。

意見 20 : 議会報告会について貴重なイベントだが、若い世代などの参加者が少なく残念である。

意見 21 : 駅西口の立体車場が常に満車である。駅東口にも駐車場ができるというが、駅西口の方が人口が多く、駅東口は使いづらい。10年前から考えないといけなかった。

意見 22 : 駅前商店街沿いの駐車スペースに車を停めて電車に乗る人がいるなど、マナーが悪く、警察に相談しても改善されず、駐車禁止にせざるを得ないと考えていたところだったが、市は白銀駐車場を有効活用したい方針であることや電光掲示板による案内のことを聞いてなるほどと思った。

意見 23 : 駅舎の東側と西側を往来できないのは問題であり、市がJRに交渉しなければならないし、市議会は要望すべきであった。線路を高架にして人も車も行き来できるようにすべきである。

意見 24 : 駅前から東洋紡前、岡山にかけての気比中の通学路が危険である。細い道の拡幅にどれくらいの時間がかかるのか。短期間に集中的にやってほしい。

意見 25 : 東京から敦賀への誘客に力を入れるだけでなく、敦賀から東京にも行きやすくなる。敦賀人の能力アップのため、20代~30代の若者の東京への短期研修へ助成をしてはどうか。

意見 26 : 参加者の数が少ないことに驚いた。議員はどのように呼びかけを行っているのか。

意見 27 : 今日の報告会に来ている高校生は2人だけ。もっと若い人に訴えかけてほしい。話したいことがないわけではない。自分たちの意見が通るかもしれないと思わせることができれば若い世代もきっと来るはずである。

意見 28 : デジタル化は避けては通れない。

意見 29 : 人口減少対策に対するスタンスを聞いてみたい。20年前からの10年に比べ、ここ10年の減り方はとても大きい。止められる問題ではないと思うが、フランスなどは出生率が改善している。日本はどうするのか。人口減少に合わせて敦賀も縮小せざるを得ないと思うが、一方で新幹線開業のお迎え体制を強化しなければならない。

3. アンケート結果
別紙2のとおり。

4. 事前にいただいた意見 (メール)
別紙3のとおり。

以上

敦賀市議会議長 馬 淵 清 和 殿

令和6年2月15日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 川 端 耕 一